

仕様表

システム形式	DN371FHBC	DN461FHBC	DN371FHBCS	DN461FHBCS	DN371FHBS	DN461FHBS	DN371FHS	DN461FHS	DN372FHS	DN371FHSE	DN461FHSE	DN371FHPK	DN461FHPK	
給湯タイプ	フルオート													
設置地域	一般地									一般地(塩害地)		寒冷地		
シリーズ	高性能シリーズ		標準シリーズ(外でも給湯対応)		標準シリーズ		標準シリーズ(3階湯はり対応)		薄型シリーズ		標準シリーズ(3階湯はり対応)		標準シリーズ(3階湯はり対応)	
適応地域	省エネルギー基準4~8地域(次世代省エネルギー基準III~VI地域)											平成25年基準では1~3地域(次世代省エネルギー基準I・II地域)		
適用電力制度 ^{※1}	季節別時間帯別電灯型/時間帯別電灯型(通電制御型)													
使用電源 (相数/定格電圧/周波数)	単相200V 50/60Hz													
最大電流	17A		19A		17A						19A			
年間給湯保温効率 (JIS) ^{※2}	3.8		3.7		3.3		3.3		3.3		3.1		3.0	
寒冷地年間給湯保温効率 (JIS) ^{※4}	-		-		-		-		-		-		2.7	
沸き上げ温度範囲 ^{※5}	約65~90℃													
貯湯ユニット形式	DNTA371FHBC	DNTA461FHBC	DNTA371FHBCS	DNTA461FHBCS	DNTA371FHBS	DNTA461FHBS	DNTA371FHS	DNTA461FHS	DNTA372FHS	DNTA371FHSE	DNTA461FHSE	DNTA371FHPK	DNTA461FHPK	
設置場所	屋外型									屋内外兼用型				
貯湯タンク容量	370L	460L	370L	460L	370L	460L	370L	460L	370L	370L	460L	370L	460L	
水側最高使用圧力 (減圧弁設定圧力)	320kPa(280kPa)													
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,818×448×1,090	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	
質量(満水時)	約81kg (約451kg)	約91kg (約511kg)	約80kg (約450kg)	約90kg (約500kg)	約78kg (約448kg)	約88kg (約548kg)	約77kg (約447kg)	約88kg (約548kg)	約92kg (約462kg)	約78kg (約448kg)	約89kg (約549kg)	約78kg (約448kg)	約89kg (約549kg)	
追いだしポンプ	30W													
ふるポンプ	65W													
凍結防止ヒーター										30W(ただし冬期のみ作動)		60W(ただし冬期のみ作動)		
制御用	5W(リモコン消灯時3W)													
ヒートポンプユニット形式	DNHP45EX	DNHP60EX	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP45ESE	DNHP60ESE	DNHP45EPK	DNHP60EPK	
外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	690×820 [カバ-部+80]×300	690×820 [カバ-部+80]×300	650×820 [カバ-部+80]×300	650×820 [カバ-部+80]×300										
質量	55kg	55kg	48kg	50kg	48kg	50kg	48kg	50kg	48kg	48kg	50kg	51kg	52kg	
中間期標準加熱能力/ 消費電力 ^{※6}	4.5kW/ 0.885kW	6.0kW/ 1.230kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 1.025kW	6.0kW/ 1.365kW	
冬期高温加熱能力/ 消費電力 ^{※7}	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	
中間期標準運転電流	5.8A	7.1A	6.0A	7.2A	6.0A	7.2A	6.0A	7.2A	6.0A	6.0A	7.2A	6.1A	7.3A	
寒冷地冬期高温加熱能力 ^{※8}	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5kW	6.0kW	
運転音 (中間期 ^{※6} /冬期 ^{※7}) ^{※9}	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB	38dB/43dB	42dB/45dB	38dB/43dB	40dB/45dB	
設置可能最低外気温度	-10℃											-25℃ ^{※10}		
設計圧力 高圧/低圧	14.0MPa/8.5MPa													
冷媒の種類/充填量	CO ₂ /0.880kg	CO ₂ /0.880kg	CO ₂ /0.675kg	CO ₂ /0.725kg	CO ₂ /0.675kg	CO ₂ /0.725kg	CO ₂ /0.675kg	CO ₂ /0.725kg	CO ₂ /0.675kg	CO ₂ /0.675kg	CO ₂ /0.725kg	CO ₂ /0.540kg	CO ₂ /0.700kg	

- ※1. 季節別時間帯別の対応電力制度は、電力会社により異なります。
- ※2. 年間給湯保温効率 (JIS) は、日本工業規格 JIS C 9220:2011 に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力量あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域条件：運転モードの設定やご使用条件等により変わります。年間給湯保温効率 (JIS) = 1年間中使用する給湯と保温に係る熱量 ÷ 1年間に必要な消費電力量 < 年間給湯保温効率 (JIS) 算出時の条件 > 着霜期高温加熱条件：外気温(乾球温度/湿球温度) 2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃ 寒冷地冬期高温条件：外気温(乾球温度/湿球温度) -7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃ (寒冷地向け) [高性能シリーズ]冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度65℃、着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度65℃ [標準シリーズ]冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度67℃ (370Lタイプ)、65℃ (460Lタイプ)、着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度67℃ (370Lタイプ)、65℃ (460Lタイプ) 夜間消費電力量比率(冬期給湯モード性能試験条件時)：80% [薄型シリーズ]冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度69℃、着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度69℃ 夜間消費電力量比率(冬期給湯モード性能試験条件時) 80%
- ※3. 省エネ区分、目標基準値一覧表は、一般社団法人日本冷凍空調工業会ホームページに記載されていますので、参照してください。なお、下記表はデンソーエコキュートが該当する区分のみを抜粋しています。
- ※4. 寒冷地年間給湯保温効率 (JIS) は、平成25年基準では3地域(次世代省エネルギー基準II地域)を想定し、年間給湯保温効率 (JIS) を表したものです。
- ※5. ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。貯湯タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。
- ※6. 中間期：外気温(乾球温度/湿球温度) 16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃、沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※7. 冬期高温：外気温(乾球温度/湿球温度) 7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃、低外気温時は加熱能力が低下する場合があります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※8. 寒冷地冬期高温：外気温(乾球温度/湿球温度) -7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃、低外気温時は加熱能力が低下する場合があります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。
- ※9. 運転音は、JIS C 9220:2011 に基づき、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。
- ※10. ヒートポンプユニットは外気温が-25℃でも沸き上げが可能です。但し、貯湯タンク全量が沸き上げできない場合があります。最低気温が-25℃を下回る地域には設置しないでください。

区分		2017年度省エネ基準エネルギー消費効率(年間給湯保温効率)			
区分名	想定世帯	貯湯容量	仕様	保温機能	貯湯缶数
17	標準	320L以上 550L未満	寒冷地仕様以外	有	一缶
18					二缶
21					一缶
保温機能とは、ふるの湯を保温する機能の“有”、“無”を表しています					

【家庭用ヒートポンプ給湯機の性能表示について】家庭用ヒートポンプ給湯機(エコキュート)は、これまでカタログなどで(社)日本冷凍空調工業会規格(JRA4050)の評価に基づいた性能表示をしていましたが、平成23年2月21日に日本工業規格(JIS C 9220“家庭用ヒートポンプ給湯機”)が制定されたことを受け、JIS C 9220の評価に基づく性能表示が始まりました。JIS C 9220は、従来のJRA4050から給湯負荷や試験方法などを見直すと共に、新たに「ふる保温」の評価を含めた「年間給湯保温効率」が規定されています。